

2026 年 6 月 22 日

肩鎖関節脱臼に対する自家長掌筋腱と Suture Tape を用いた Hybrid Graft による鏡視
補助下烏口鎖骨靱帯再建術の手術方法とその有用性

◆研究の目的と概要◆

肩鎖関節脱臼に対する手術では、強固な固定性と生物学的治癒の促進を両立させる必要性があり、未だ最適な術式は確立されていません。我々はそれらを解決するために強固なテープ材と長掌筋腱を用いた方法を行っています。我々の行っている術式について報告する事とその有用性について調査することを本研究の目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2014 年 4 月から 2026 年 4 月までの間に、肩鎖関節脱臼に対して手術を受けられた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

ASES score、性別、年齢、既往歴、受傷から手術までの期間、手術方法、重症度 (Rockwood 分類)、単純 X 線 (CCD, DHT)、術後可動域

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 7 月 25 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
整形外科 研究責任者 山田俊介
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明